

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 25 年度第 6 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 26 年 3 月 25 日 (火) 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで		
開催場所	小金井市役所本庁舎 3 階第一会議室		
出席者	委員	<出席者：10 名> 大江会長・松村副会長・加藤委員・竹内委員・波多野委員・多田岳人委員・多田典子委員・鈴木委員・勝又委員・簗口委員 <欠席者：4 名>	
	事務局	中谷環境部長・小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・秋元ごみ対策課長補佐・井上・佐藤・吉田	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1
会議次第	1 開 会 第 5 回審議会会議録の確認について 2 議 題 (1) 報告事項 可燃ごみ処理の状況等について (2) 平成 26 年度一般廃棄物処理計画について (答申) 3 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

審議過程（主な発言等）

大江会長	では、平成25年度第6回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。平成25年度第5回の会議録について意見・修正がなければ公開手続きを執るが宜しいか。
委員各位	（異議なし）
大江会長	第5回廃棄物減量等推進審議会の会議録について確認されたこととし、公開の手続きをする。議題（1）報告事項 可燃ごみ処理の状況等について事務局から報告して頂きたい。
小野ごみ対策課長	（燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について資料説明）
大江会長	質問はあるか。特段ないようなので、事務局より何かコメントはあるか。
小野ごみ対策課長	平成25年度は可燃系ごみ5%減の減量目標を達成できない見込みであり、昨年度に比べて減量率は低くなっている。事務局としてはこれを重く受け止めている。平成26年度は減量目標の達成に向けて、より一層力を入れて施策に取り組んでいきたい。
加藤委員	燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較についての資料によると、2月までの合計が11,555.7tであり、平成26年度一般廃棄物処理計画の平成25年度の処理量推定12,794tと比べると、かなり差異があるのではないか。
小野ごみ対策課長	平成26年度一般廃棄物処理計画3ページの平成25年度の処理量推定については、10月に諮問をさせて頂いた時点での最新数値である上半期の実績を基に推定している。
佐藤減量推進係主任	燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較についての資料は、家庭系と事業系の燃やすごみの処理量の数値のみを記載している。平成26年度一般廃棄物処理計画3ページに記載のある平成25年度の処理量推定12,794tは、可燃系ごみの処理量の推定であり、燃やすごみだけでなく、木質粗大ごみや布団等可燃系粗大ごみも含めた推定値となっている。
加藤委員	了解した。
大江会長	では、議題（2）平成26年度一般廃棄物処理計画についての答申に入る。平成26年度一般廃棄物処理計画は、平成25年10月28日付け小環ご発第172号にて小金井市の廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第7条第2項の規定に基づき市長より諮問があり、これまで10時間以上の積極的かつ活発な審議を経て、前回平成26年2月20日開催の審議会にて文言等内容の最終調整を会長・副会長に一任するというところで結審していることから、本日市長に答申させて頂く。内容については、文言等をより分かりやすくなるように一部調整をし、本日机の上に配布させて頂いた。主な変更点について、事務

審議過程（主な発言等）

<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>局より説明して頂きたい。</p> <p>平成26年度一般廃棄物処理計画の文言について言い回しが分かりにくいところについて、会長・副会長と調整をした。主な変更点としては、8頁の優先して取り組む施策・充実させて取り組む施策について、これまでご審議頂いた内容を踏まえ、施策の後に括弧書きにて平成26年度に特に力を入れていかなければならないことを取組内容として加筆した。その他、冒頭文、12頁、13頁等の文言についても調整した。</p>
<p>大江会長</p>	<p>この内容について質問・意見はあるか。特段なければ、これで答申させて頂く。</p>
<p>委員各位</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>大江会長</p>	<p>では、答申させて頂きたい。 (平成26年度一般廃棄物処理計画について (答申))</p>
<p>稲葉市長</p>	<p>ただ今、大江会長から平成26年度小金井市一般廃棄物処理計画について答申を頂いた。私たちにとってごみ処理は最も重要な仕事であり、一日たりとも疎かにできない。長い間市民の方々に心配をお掛けした安定的な可燃ごみ処理体制の構築については、平成26年1月16日に、日野市、国分寺市及び本市で可燃ごみの共同処理を行うこと等を約した新たな覚書を取り交わした。1年以上掛けて積み上げてきて、日野市、国分寺市との3市の共同処理という方針が固まった。私たちは与えられた役割や責任をきちんと果たすことによって、平成31年度中の稼働に向けて努力していきたい。新可燃ごみ処理施設は現日野市クリーンセンター敷地内に建設する予定となっている。施設周辺にお住まいの皆様をはじめとした日野市民の皆様や日野市の関係者に感謝申し上げる。また、可燃ごみの共同処理の方向性が定まったということで、広域支援も受けやすい環境になってきた。平成26年度の可燃ごみの処理についても、全量処理の確保に向けて遅滞なく取り組んでいく。</p> <p>今回の答申に当たり、皆さんには10時間以上に及ぶ熱心な審議をして頂き感謝申し上げます。審議して頂いた内容を踏まえ、ごみ減量・資源化に向けてより一層取り組んでいきたい。</p>
<p>大江会長</p>	<p>稲葉市長だが、他の公務があるためここで退席する。 (市長退席)</p>
<p>大江会長</p>	<p>では、議題(3)その他へ移る。新たに小金井市一般廃棄物処理基本計画を策定する予定となっていることから、事務局から今後のスケジュールについて説明して頂きたい。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>(小金井市一般廃棄物処理基本計画スケジュール(案)資料説明) 現行の小金井市一般廃棄物処理基本計画は平成18年3月に策定したもの</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>で、平成27年度までの計画となっている。本来なら5年経過した時点で見直すものであったが、小金井市の諸事情によって見直しを行わずに現時点に至っている。今回の策定は、現行の一般廃棄物処理基本計画の見直しをするということではなく、新たな一般廃棄物処理基本計画を策定するという形で、予算を議会に提出し、昨日の平成26年第1回小金井市議会定例会の中で平成26年度の予算が可決された。この新たな一般廃棄物処理基本計画は、平成27年度から平成36年度までの10年間の計画を策定する。一般的には1年以上かけて一般廃棄物処理基本計画を策定する方法もあるが、平成27年度以降の計画を策定していくというのが絶対条件なので、平成26年度中に策定し、外部のコンサルタントに委託を考えている。具体的には、一般廃棄物処理基本計画案の策定、市民アンケートの実施、ごみの組成分析、子供向けと成人向けのワークショップ、廃棄物減量等推進審議会の会議録の作成等を委託する。業者の選定については、通常の競争入札ではなく、プロポーザル方式で行う予定であるため、提案書の提出や選考委員会による審査、委託契約の準備等に2ヵ月半を要し6月に契約を締結する予定である。現審議会委員の皆さんの任期は6月30日までであるため、新たな一般廃棄物処理基本計画に携わって頂くことは予定していないが、7月以降新たに審議会委員になって頂く方には、委嘱後早々に勉強会を開き、進捗状況にもよるが10月から1月中旬までの間で2ヶ月に3回程のペースで審議会を開催していきたいと考えている。その一般廃棄物処理基本計画案を審議会で審議の上、市長に答申して頂き、パブリックコメントを経て、平成26年度中に策定するというスケジュールになっている。新可燃ごみ処理施設が稼動するまでの間、その処理を多摩地域の各団体をお願いしなければならないということを踏まえて一般廃棄物処理基本計画を策定していきたいと考えている。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>二つ質問がある。平成26年度は、平成27年度の年次計画である一般廃棄物処理計画の審議と一般廃棄物処理基本計画の審議がオーバーラップしてくると思う。それぞれ独立して審議するということが良いのか、それとも一緒にやるのか。もう一つは、現行の一般廃棄物処理基本計画の中にアンケートがあるが、前回のアンケートと10年経過した市民の意見との比較ができるようなアンケートにして欲しいがどのように考えているか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>平成27年度の年次計画である一般廃棄物処理計画の審議と一般廃棄物処理基本計画の審議は、多少重なって審議して頂かなければならない部分もあると思うが、できるだけ審議会委員の皆さんに負担をかけないように選定された業者と調整していきたい。また、平成27年度の一般廃棄物処理計画の策定についても選定された業者に手伝って頂く。</p> <p>アンケートの手法については、現時点では、前回と比べてのアンケートという手法は想定していないが、選定された業者と調整していきたい。</p>
<p>大江会長</p>	<p>プロポーザル方式で業者を選定するということが、理念や基本方針があれば述べて頂きたい。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>市の施策であるごみ減量、3Rの推進、資源循環型社会の構築等の継続性を</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>持ちつつ、現在市が抱えている状況を踏まえて、市民の声を拾っていきながらより深く各施策に取り組んでいきたいと考えている。</p>
大江会長	<p>新しい審議会に選定プロセス等を開示していくつもりはあるか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>選定プロセス等については、関係条例等の規定を踏まえた上で、説明していきたいと考えている。</p>
加藤委員	<p>ここ数年の処理計画を見ると、可燃系ごみについても減量率が低くなっているし、不燃系ごみは増えているので、これまでの継続的な施策では単なる絵に描いた餅になってしまう気がする。小金井市はごみ減量が進んでいて10万人以上50万人未満の自治体の中では全国でもトップクラスになっているが、これからの一般廃棄物処理基本計画は、新しい視点で取り組んでいかなければごみ減量はできないと思う。生ごみにしても、分別収集を含む手法をとらないと可燃系ごみの減量は行き詰るのではないか。また、一般廃棄物処理基本計画は日野市・国分寺市・小金井市の共同処理と密接に関わってくると思うので、その辺をどう調整していくのか意見を伺いたい。</p>
大江会長	<p>一般廃棄物処理基本計画を策定する時に3市で付き合わせることがあるのか。独自に策定していくのか。その辺の区分けがあるのか。</p>
藤田ごみ処理施設担当課長	<p>日野市、国分寺市については、一般廃棄物処理基本計画の見直しをする予定であると聞いている。詳細についてはこれから詰めていくこととなるが、その中で調整できるものは調整しなければならないと考えている。</p>
大江会長	<p>一般廃棄物処理基本計画策定に際しては、市民の意見を聞きながら、地道にまとめていくことが必要だと思う。是非このことを念頭において業者選定を行って欲しい。</p>
松村副会長	<p>業者選定の際には、人口移動の状況等小金井市の立地条件や特性を踏まえ、どういうごみ処理が理想的なのかという観点が必要だ。新可燃ごみ処理施設の稼働に向けて準備を進めているということで、基本的にはできるだけ分別を徹底して、最小限のものを燃やして、後のものをリサイクルに回すという方向性は間違いないと思う。今後状況がどのように変わったとしても、小金井市のごみ処理の理想体系はどのような形なのかというものを提案して頂くのが良いのではないか。</p>
大江会長	<p>日々の業務を行っているとき余りにも現実が見え過ぎてしまうことがあるため、外部から大胆に意見を頂くことは重要な観点だと思う。</p>
松村副会長	<p>国内だけでなく、海外の事例も調べて、小金井市としてはこういう形が理想だというものを作れると良いのではないか。</p>
簗口委員	<p>業者を選定する際にどれも基準を満たさない等の理由で業者を選べない状</p>

審議過程（主な発言等）

<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>況となった場合はどうするのか。</p> <p>業者選定に際しては、指名型のプロポーザル方式を予定しており、事前に実績が豊富にある業者を数社選定した上で、説明会も開催する予定であるため、明らかに私たちが求めるものと違う提案をしてくる業者はいないと思う。小金井市が求める一般廃棄物処理基本計画の策定に一番近い業者を選定することになる。</p>
<p>大江会長</p>	<p>審議会委員の任期は平成26年6月30日までであるが、本日が最後の審議会となる。以上で、平成25年度の小金井市廃棄物減量等推進審議会を閉会する。</p> <p>(閉会)</p>